

ということから渡辺三枝子先生の指導の下に筑波大学と共同で開発しました。質の高いキャリアコンサルタントを育成するためには良き指導者が必要ですよ、という発想に基づいています。今年で 9 期目を迎えますが、最近では、既に職場でキャリアコンサルタントに指導する立場の方や 1 級技能士の方も学びに来られていますよ。キャリアコンサルタントの先にはクライアントがいるので、クライアントを守る意味でもキャリアコンサルタントの成長支援の仕組みは重要です。

●単にキャリアコンサルタントのキャリアパスということだけではなく、キャリアコンサルティングが社会で有効に機能するための仕組みだということですね。入口のトレーニングにあたる GCDF 養成講座についても教えていただけますか

「GCDF」(Global Career Development Facilitator) は個人のキャリア支援のための米国認定資格で、現在では、米国、日本以外でもカナダや中国、ドイツなど世界 16 地域で運営されています。キャリア支援に関わる専門家として「現場で今必要とされる幅広い知識と実践的なスキル」を習得するために、一貫して実践の中で使うものを学習する、というスタンスで 12 日間の通学講座で授業が行われています。もともと人材サービス系企業が基幹企業となり立ち上げた経緯があり、受講者は人材サービス関連企業の方や企業の人事、人材開発職種の方々が多くなっています。修了後は、ボランティアではなくプロとしてのキャリアコンサルタントの範疇での仕事情報の提供を行い実践の機会を積んでいただいています。

CCA は、先に申しあげたように、キャリアコンサルタントとしての高みを目指し、向上し続けていただきたいという思いがありますので、資格を取得した後も学び続けるものだと伝え続けています。これは私たち運営側も同様で、トレーナーの先生方やクライアント役でご協力いただいている方々への定期的な勉強会も実施しており、教える側も一緒に学び成長を続けています。また、これらの勉強会の中では、各プログラムに対する意見や受講生からの声なども集約され、受講者からのアンケートも踏まえていろいろな形でプログラムに反映されています。

●提供する側も学びのサイクルを絶えず回しているということですね

それはもちろんそうなのですが、これは学びのための学び、ということではなく、学んだことをキャリアコンサルタントが実践で活かすことができるようになるにはどうするか、という視点が根本にあります。「企業におけるキャリアコンサルティング/キャリアコンサルタント活用の課題と方向性」というタイトルで昨年 3 月に開催した企業人事責任者向け特別セミナーも、企業側にさらにキャリアコンサルティングを導入して労働者のキャリア支援を進めてほしいという思いから以前より研究会を立ち上げ検討を行っていました。そし

て、その研究会で委員長をしていただいた学習院大学の今野先生や、筑波大学大学院の岡田先生、東京未来大学の角山先生のご指導のもと、【CCA】領域別技能講習（組織・人的資源管理）を開催していますが、ここでも理論を学んだうえでワークやケース検討を行い、学んだことを実践の中で行うにはどうすればいいかを考えながら授業をうけてもらう、という流れになっています。私たちは大学やクリニックなどと組んでプログラム開発を行ったりもしてきましたが、その道のプロの組織とつながることでより実践に活かせる学びが提供できるのだと思います。

キャリアコンサルタントが国家資格となったことで認知は高まり、活躍する機会も増えました。世の中から見られているわけですから、質の向上は今まで以上に大事で、キャリアコンサルタントは、知識と実践の両輪の能力を絶えず高めていく姿勢が必要なんだと思っています。そのためにもこれからも皆さんと一緒に学び続けたいですね。

【 団体基本情報 】

特定非営利活動法人キャリアカウンセリング協会

（ 東京都港区新橋 1 丁目 16 番 4 号 りそな新橋ビル 4 階 ）

団体の HP はこちら→<https://www.career-npo.org/>

養成講習の HP はこちら→<https://www.career-npo.org/GCDF/>